

新潟をひとつにするのはスポーツだ

定価：本体787円+税

NIIGATA Sports Magazine

新潟スポーツスタンダード
マガジン

Standard

NIIGATA
新潟

2019 October-November

10・11月 Vol. 7

創刊1周年記念号

Special Interview
新潟アルビレックスBB

五十嵐圭

2019-20シーズン開幕
新たな希望へ

新潟アルビレックスBB

今村佳太 ニック・パーキンス

新潟アルビレックスBBラビッツ

井上愛 ロー・ヤシン

燃える新潟バスケット

HEAT-UP

ウインターカップ2019

2次予選出場校

男女

62チーム 選手名鑑

新潟Players

各世代
バスケット人の素顔



004 新潟バスケットボール特集

HEAT-UP 燃えろ新潟バスケ

004 Chapter1
B.LEAGUE/W LEAGUE 新たな希望へ

Special Interview
 新潟アルビレックスBB

五十嵐圭
今村佳太/ニック・パーキンス

014 今季の見どころ&試合スケジュール

017 新潟アルビレックスBB ロスター

022 新潟アルビレックスBBラビッツ
井上愛/ロー・ヤシン

026 今季の見どころ&試合スケジュール

027 新潟アルビレックスBBラビッツ ロスター

032 **働くアスリート** 企業×選手がもたらす相乗効果

035 Chapter2
WINTERCUP2019 高校生のまなざし

開志国際高校「常勝校の素顔」
 新潟商業高校
 新潟産業大学附属高校

045 ウインターカップ2019 2次予選出場校

男女62チーム選手名鑑

079 Chapter3
新潟Players バスケと生きる

【大学】 **新潟経営大学**
新潟医療福祉大学

【中学】 **新潟柳都中学校**

【ミニバス】 **柏崎 RED SHARKS/あおぼS.C**
新発田キッズミニバスケットボールスポーツ少年団
内野リトルスターズ

096 新潟県フレッシュ・
 ミニバスケットボール大会レポート

【高専】 **長岡工業高等専門学校**

【社会人女子】 **新潟Mis/新潟MisL**

【プロ3X3】 **SANJO BEATERS.EXE**

108 **Niigata Sports Flash**
 新発田ラグビー教室/アドベンチャーレース

111 **We are アルビレックス**
 アルビレックス新潟 **岡本将成**
 新潟アルビレックス・ベースボール・クラブ **稲葉大樹**

118 **Standard新潟**
 創刊1周年記念プレゼント

連載

001 S-motion DREAMERS

117 I LOVE SPORTS

クルマがもらえる コミコリリース!!

新車が 月々 10,800円~ (税込)

※契約期間満了時に車両引き渡し。※リース内容については店頭で詳細を確認下さい。※画像はイメージです。

COCO SELECT 長岡店 新潟店 上越4WD専門店

ココセレクト 検索

営業時間/9:00~18:00 定休日/毎週火曜・第3月曜 <http://www.cocoselect.jp>

NEW CHALLENGE



開幕 B.LEAGUE 2019-20 SEASON

第2節 10/13 sun 18:05 · 14 mon 14:05

第4節 10/19 sat 18:05 · 20 sun 14:05

川崎ブレブサンダース (シティホールプラザ アオーレ長岡)

レバンガ北海道 (シティホールプラザ アオーレ長岡)



観戦チケットはアルビBBチケットサイトへ
TEL. 025-201-5510
<https://bleague-ticket.psrv.jp/>



まずは「アルビBB
 公式サイト」をチェック!
<https://www.albirex.com/>



STANDARD SPECIAL

新潟バスケットボール特集

HEAT UP

B.LEAGUE、W LEAGUEが開幕した。

昨季の雪辱を期して躍動するBB、ラビッツの選手たち。

高校生のウインターカップも県予選2次ラウンドが始まる。

最盛期を迎えたバスケットボール界。

選手と観客を飲み込んだアリーナが、熱く、激しく、揺れる。

撮影●嶋田健一

燃える
新潟
バスケット

Chapter1

B.LEAGUE
W LEAGUE

新たなる希望へ



2019-20 ROSTER

選手名鑑

撮影◎嶋田健一・伊平裕哉 文◎斎藤慎一郎

NEW CHALLENGE

2019-20チームスローガン

11 PF 鷺澤 潤
JUN UZAWA

ポジション パワーフォワード
生年月日 1981年10月28日 身長・体重 196cm・103kg 出身 千葉県

昨季に続いてキャプテンを務める。名古屋ダイヤモンドドルフィンズ時代にも合計6シーズン、キャプテンだった。名古屋Dから移籍した一昨年は副キャプテンを務め、新潟に来てからも常にチームをまとめる立場だ。今季の目標は「昨季以上の成績を残すこと」。ダバンテ・ガードナーがライバルチームに移籍したことは大きな痛手。同時にそれはチームが進化するチャンスと捉える。「ダバンテがいなくなったから勝てなくなったと言われたくない。それぞれが成長すれば、違う形を作れる」と選手個々に自覚を促す。自身にとっても勝負の年だ。新外国籍選手のニック・パーキンスは機動力を駆使するタイプ。中央で構えていたガードナーとは異なる。インサイドでの攻防の時間帯、パーキンス、ラモント・ハミルトンら外国籍選手とのコンビでリング下を任される場面が増える。「相手の外国籍選手とマッチアップする時間帯も長くなる」と攻防の激化は意識している。そこで粘り強く戦うことがチームに流れを作る要因になることも分かっている。7月には若手の合同自主トレに参加するなど、早い段階から体をいじめてきた。新しいシーズンに向かう準備はしてきた。「一人一人が役割を果たせばいいチームになる」。それを体現してチームを引っ張る覚悟でいる。



2019-20シーズン 新潟アルビレックスBB全試合日程

節	HOME:AWAY	開催日	曜日	開始時刻	対戦相手	会場
第19節	H	1月25日	土	調整中	秋田ノーザンハピネッツ	シティホールプラザ アオーレ長岡
	H	1月26日	日	調整中	秋田ノーザンハピネッツ	シティホールプラザ アオーレ長岡
第20節	H	1月29日	水	調整中	三遠ネオフェニックス	シティホールプラザ アオーレ長岡
第21節	A	2月1日	土	調整中	名古屋ダイヤモンドドルフィンズ	ドルフィンズアリーナ (愛知県)
	A	2月2日	日	調整中	名古屋ダイヤモンドドルフィンズ	ドルフィンズアリーナ (愛知県)
第22節	A	2月8日	土	調整中	島根スサノオマジック	松江市総合体育館 (島根県)
	A	2月9日	日	調整中	島根スサノオマジック	松江市総合体育館 (島根県)
第23節	H	2月15日	土	調整中	アルバルク東京	新潟市東総合スポーツセンター
	H	2月16日	日	調整中	アルバルク東京	新潟市東総合スポーツセンター
第24節	H	2月29日	土	調整中	シーホース三河	シティホールプラザ アオーレ長岡
	H	3月1日	日	調整中	シーホース三河	シティホールプラザ アオーレ長岡
第25節	A	3月4日	水	調整中	川崎ブレイベサンダース	川崎市とどろきアリーナ (神奈川県)
第26節	H	3月7日	土	調整中	島根スサノオマジック	シティホールプラザ アオーレ長岡
	H	3月8日	日	調整中	島根スサノオマジック	シティホールプラザ アオーレ長岡
第27節	A	3月11日	水	調整中	三遠ネオフェニックス	豊橋市総合体育館 (愛知県)
第28節	H	3月14日	土	調整中	琉球ゴールデンキングス	シティホールプラザ アオーレ長岡
	H	3月15日	日	調整中	琉球ゴールデンキングス	シティホールプラザ アオーレ長岡
第29節	A	3月21日	土	調整中	富山グラウジーズ	富山県総合体育センター (富山県)
	A	3月22日	日	調整中	富山グラウジーズ	富山県総合体育センター (富山県)
第30節	H	3月25日	水	調整中	川崎ブレイベサンダース	シティホールプラザ アオーレ長岡
第31節	A	3月28日	土	調整中	シーホース三河	ウイングアリーナ刈谷 (愛知県)
	A	3月29日	日	調整中	シーホース三河	ウイングアリーナ刈谷 (愛知県)
第32節	A	4月1日	水	調整中	川崎ブレイベサンダース	川崎市とどろきアリーナ (神奈川県)
第33節	H	4月4日	土	調整中	三遠ネオフェニックス	シティホールプラザ アオーレ長岡
	H	4月5日	日	調整中	三遠ネオフェニックス	シティホールプラザ アオーレ長岡
第34節	H	4月8日	水	調整中	川崎ブレイベサンダース	シティホールプラザ アオーレ長岡
第35節	A	4月11日	土	調整中	横浜ビー・コルセアーズ	横浜文化体育館 (神奈川県)
	A	4月12日	日	調整中	横浜ビー・コルセアーズ	横浜文化体育館 (神奈川県)
第36節	H	4月18日	土	調整中	富山グラウジーズ	シティホールプラザ アオーレ長岡
	H	4月19日	日	調整中	富山グラウジーズ	シティホールプラザ アオーレ長岡

2019-20 ROSTER

選手名鑑



新潟アルビレックスBBラビッツ
2019-20 W LEAGUE 開幕



9
GF
平 典紗
TSUKASA TAIRA

ポジション ガードフォワード
生年月日 1996年11月20日 身長・体重 165cm・59kg 出身 神奈川県

全日本大学選手権で2連覇した東京医療保健大から入団したルーキー。攻守にわたり豊富な運動量を持ち味で、1対1のディフェンス、ドリブルからのアタックでチームを活性化させる選手。8月の合同練習試合やサマーキャンプでWリーグのチームと対戦し「大切なところでしっかりシュートを決めてくる」とレベルの高さを痛感。同時に自らもやれる手応えを実感し、「チームにエネルギーを与えられる選手になる」と目標を掲げた。大学で培った「最高の自分になる」というメンタルの強さがベースにあり、1年目から重要な戦力になり得る存在だ。



7
F
北川直美
NAOMI KITAGAWA

ポジション フォワード
生年月日 1994年5月24日 身長・体重 174cm・65kg 出身 長野県

今季からキャプテンの井上を補佐する副キャプテンとしてチームをまとめる立場になった。「いつまでも最年長の井上さんに頼っていてはだめ」。自分たちの世代がリードしようと行動。井上と常に会話して考えを共有しながら、年下の選手との間に入って積極的にコミュニケーションを図る。インサイドポジションでのプレーが中心となり、リバウンドが頑張るところ。決して身長は高くないが、持ち前のバネを生かした素早さで相手の機先を制する。「先を見ずに一試合一試合、自分の最大限を尽くす」。目の前のプレーに集中する姿を見せてチームの結束を促す。



12
F
金沢みどり
MIDORI KANAZAWA

ポジション フォワード
生年月日 1996年10月7日 身長・体重 169cm・63kg 出身 神奈川県

福島大4年時に東北大学リーグで優秀選手に輝いた。学生時代から得意にしていたリバウンドに加え、入団後はシュート力アップを課題にしてトレーニングに励み、日々実感してきているという。「ミドルやジャンプショットをもっと磨く。3点シュートを1試合1本は決めたい」と目標を設定。高校、大学ではキャプテンを務めた。「まだ自分のことで精いっぱい」と言うが、「コートの上では積極的に声を出していきたい」とリーダーシップも持ち合わせている。「今季に懸けている先輩たちのためにも」とチーム目標のプレーオフ進出に向けて全力を尽くす。

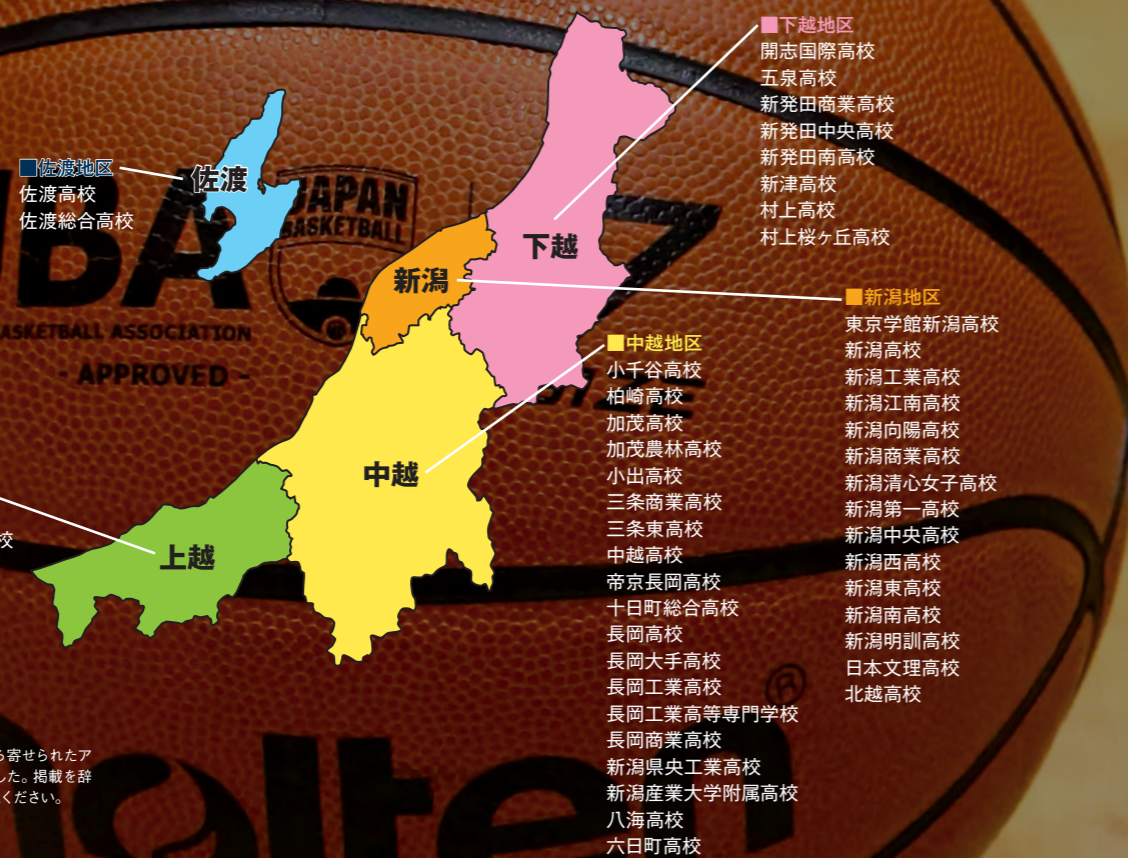
8
CF
渡邊愛加
MANAKA WATANABE

ポジション センターフォワード
生年月日 1995年1月25日 身長・体重 177cm・72kg 出身 山梨県

本領発揮のシーズンだ。昨季は開幕直後に左膝を痛めた。ルーキーだったその前の年は筑波大時代に負った右膝のけがを引きずっていた。3年目の今季、「やっといい状態ができる」と意欲十分。インサイドはポジション争いが激しく、新戦力のヤシン、菅原に加えて井上の起用もありそう。「負けたくない」と意気軒高だ。もともと3点シュートは得意だが、「リング下の混戦でも決める」と得点力アップを強く意識してきた。個人目標に「シュートの成功率は2点シュートが60パーセント、3点シュートは40パーセント」を掲げた。負けん気の強さも武器だ。

新潟県高校バスケットボール 2019 ウィンターカップ2次予選出場校 選手名鑑

男女62 チーム



※掲載したメンバー表は、各チームから寄せられたアンケート調査をもとに作成いたしました。掲載を辞退されたチームもございます。ご了承ください。

運動会やる可ぜ!!

produce by

みんなの運動会

運動会をプロデュースします!!

用具・運営・進行すべてお任せください

・ 懐かしくも新しい運動会

今、運動会は首都圏の企業を中心に適度なコストで費用対効果の高い「コミュニケーション活性化イベント」として注目されはじめています。上司と部下はもちろん、その家族や友人も含め、青空の下で一緒にいい汗をかき、みんなでおいしいお弁当を囲みながら親睦を深める。それらはベテランには懐かしく、若い世代には今まで味わったことのない感動を与え、最高のコミュニケーション体験ができる貴重な時間となるはず。昔ながらの定番競技に加え、新しく楽しい競技メニューも取り揃えておりますので、まずはお気軽にご相談ください。

各部署から社員が集結、運動会で広がるコミュニケーションイベント

企業で

企業風土の醸成
社員育成
社内コミュニケーションの活性化
社員の離職率低下

子どもからお年寄りまで楽しめる、魅力あふれる健康な街づくり

自治体で

婚活イベント
市民の健康増進対策
市民レクリエーション

プロのスタッフがサポートする、思い出に残る運動会!!

学校で

競技のマナー化
教員の働き方改革の一助に
備品購入管理コスト軽減

「みんなの運動会」 5つのポイント

Point 01 プロの共同事業体による運営体制だから安心

「みんなの運動会」は、それぞれの専門家の共同事業体です。そのメリットは「質の高いコミュニケーション環境」の提供です。一般社団法人異性間コミュニケーション協会認定のコーチング専門家が、会社を代表する実行委員会メンバーを「コミュニケーションリーダー」としてトレーニングすることからスタートします。このトレーニングを受けた実行委員会メンバーが、社内コミュニケーションの活性化を促進します。

Point 02 準備や後片付けもすべてお任せください

コミュニケーション醸成に関係しない実務作業はすべて引き受けますので、ストレスなく効率的で効果的な成果をお約束いたします。

Point 03 ケガのリスクを考えた競技メニュー

勝ち負けを優先するのではなく、あくまでもコミュニケーションを深めることを第一目的としています。ケガのリスクを考慮した、誰でも気軽に楽しめる競技メニューを取り揃えています。

Point 04 プラン提案後に「実施する」「しない」を決定できる!

「実施する」or「しない」はプラン提案後に決定でOK! もちろんプランの策定・提案は無料です。まずはお気軽にお問い合わせください。

Point 05 ご要望・ご予算に応じたプランニング

基本プランのご用意はもちろん、お客様のご要望やご予算に応じてカスタマイズもいたします。

お気軽にお問い合わせください

<https://www.minna-undoukai.jp>
info@minna-undoukai.jp



スタンダード新潟
みんなの運動会
事務局 025-243-7042
お問い合わせは/平日 9:00~17:00(祝祭日除く)





Key Player

井上凌 (いのうえりょう)

1997年(平成9)9月6日生まれ、加茂高卒。バス技術とシュート精度が高く、2年時から主力を担う。また、新潟県の国体選抜にも選出され活躍。今年はゲームメーカーとしてだけでなく、キャプテンとしてコート内外でチームをけん引している。ポジションは主にポイントガード、183cm。

リベンジに燃えるチームが 創部初のベスト8に挑む

過去11回のインカレ出場を誇る男子バスケットボール部。2016・17年にはベスト16入りを果たすなど、名門校として名をはせるチームだが、昨年は予選の北信越大会で涙をのんだ。「主力選手のけがもあり、厳しい戦いになりました。大事な局面でのひと押しが足りなかったです」と田巻信吾監督は振り返る。井上凌(4年)も「選手全員悔しい思いをしましたし、僕自身、大会の初戦で負傷してしまいチームに貢献できませんでした」と責任を口にする。

雪辱を期して臨んだ今シーズン、課題の守備力を強化し、ディフェンスから流れをつくるというチームのスタイルに磨きをかけた。北信越大学バスケットボール春季リーグ戦では優勝。西日本大学バスケットボール選手権でもベスト4入りし、関西の強豪校と互角に渡り合った。コート内での

スペースの取り方など5人の関係がうまくかみ合ってきたと田巻監督は分析する。エースで、キャプテンでもある井上に対しては「2年時からスタメンで、技術的にはトップクラスの選手。リーダーシップを発揮して、精神面でも引っ張ってほしいです」と期待を寄せる。

目標はインカレ出場と全国ベスト8。「メンバーの士気も上がっています。ガードとして、味方の良さを引き出し勝利に導くことはもちろん、キャプテンとしてチームを鼓舞していきたいです」と意気込みを語る井上。田巻監督も「選手層も厚く、戦力も整ってきました。全国の上位とやれた経験も生きてくると思います。インカレの舞台で真つ勝負したいですね」と力強く締めくくった。本大会の切符を獲得し、創部史上初のベスト8に挑む。



NIIGATA UNIVERSITY OF MANAGEMENT

新潟経営大学女子

撮影●嶋田健一 文●中野辰裕

高い攻撃力で全国の切符をつかんだ昨年の女子バスケットボール部。エースが抜けた今シーズン、序盤は波に乗り切れなかったが、選手全員で課題を克服し、上々の仕上がりを見せる。4年連続8回目のインカレ出場に向けチームが完成の域に近づいてきた。

NIIGATA UNIVERSITY OF MANAGEMENT

新潟経営大学男子

撮影●嶋田健一 文●中野辰裕

北信越リーグ戦優勝7回など輝かしい実績を誇る新潟経営大学男子バスケットボール部だが、昨年はインカレ出場を逃し苦汁をなめた。あれから1年、練習を積み重ね強豪にもまれたチームは、2年ぶりのインカレ出場、そしてさらなる高みを目指す。



STANDARD SPECIAL
新潟バスケットボール特集
HEAT-UP
燃える新潟バスケット



Key Player

須佐ちはる (すざちはる)

1997年(平成9)5月24日生まれ、福島県・若松高卒。ミドルからのジャンプシュートを武器に得点を重ねる。また、果敢にリバウンドを取りに行くなど攻守にわたってチームを支える。キャプテンとしての資質も高く、監督やメンバーからの信頼も厚い。ポジションは主にパワーフォワード、167cm。

春の悔しさをばねに 反撃ののろしを上げる

昨年を含め3年連続でインカレに出場している女子バスケットボール部。「昨年は看板選手がいたので戦術も組み立てやすかった。今年は一からのスタートです」。そう話すのはチームを率いる石井恵監督。春のリーグ戦では4位に甘んじたが、課題が明確になり収穫も多かったと前を向く。昨年のインカレ終了後、新キャプテンに任命されたのが須佐ちはる(4年)。誰よりも声を出し、献身的なプレーでチームを盛り立てる。「昨年まではBチームでしたが、努力を惜しまず、シュートの決定率など技術面も飛躍的に向上しています。何より、人間性が高くチームを引っ張ってくれています」と、石井監督は厚い信頼を寄せます。須佐は「先輩からも意見が出るなど今はチーム一丸で戦えています。オンオフの切り替えもできていて、いい雰囲気です」と

状態の良さを強調。現在のチーム状況と比例するように調子も上がっている。高さを生かしたインサイドからの攻撃が今年チームカラーで、選手全員が高い意識を持って、課題であるディフェンス面を磨いている。石井監督は「うちには余裕なんてありませんよ」と苦笑いを浮かべつつも「メンバー同士のピースがはまればいい勝負ができると思います」と手応えを感じている。大学でバスケットの一線から退く予定の須佐は「春はチーム全体でミスが続いたので、一つずつのプレーを大事にしていきたいです。自分にとって集大成となる大会で結果を出し、監督にインカレをプレゼントしたいですね」と完全燃焼することを誓った。目標はインカレで勝利を上げることだが、あくまでも一戦必勝。まずは4年連続での本大会出場に全力を尽くす。

SANJO
BEATERS.EXE

グローバル化によって分断された「地域のコミュニティ」が再評価・再建されつつある。ポイントは、地域の良さを大切にしながら、新しい人々をどう呼び込むか。さまざまなアイデアが試されている中、三条市の下田地域で地域活性の軸となるプロバスケットボールチームが立ち上がった。2020年東京五輪で正式種目になり注目される、3X3に挑戦している。

撮影●近藤俊 文●編集部



トレーナー 片貝功基
Koki Kataki

1991年(平成3)5月7日生まれ、群馬県吾妻郡東吾妻町出身。スポーツで生きていくことを目標に、フットサルやフットゴルフのトレーナーを経験。知人からビーターズの存在を聞き、自ら熱烈アタックした。

上越新幹線の燕三条駅を背に、車を東へ。やがて街が田畑になり、川沿いに集落が現れては消えを何度か繰り返すと、名勝の八木ヶ鼻が顔を出す。三条市街地から約40分。山に囲まれた下田地域(旧下田村)の荒沢という集落に、3人制バスケットボール・3X3(スリーエックススリー)のプロチーム、SANJO BEATERS・EXE(サンジョウビーターズドットエグゼ/以下ビーターズ)が練習に使う旧荒沢小学校がある。正確には、ここはビーターズの運営主体であるNPO法人「ソーシャルファームさんじょう」の拠点だ。このNPO法人では、農業を核とした人財育成、六次産業化の企画、交流できる居場所づくり、そしてスポーツ教室の開催や合宿誘致などを実践している。

彼らは3X3のトップリーグ「3X3・EXE PREMIER」(以下プレミアリーグ)を主戦場とするプレイヤーだ。と同時に、「半農半バスケット」を掲げる農村の新しい活力で、スポーツ指導などで地域を元気にする人財でもあり、そして地域の住民にとっては「同じ土地で一緒に生活するプロ選手」。子どもにとっては、「身近にいるバスケットのヒーロー」だ。

スポーツの稼ぎだけでは暮らしていけないプロ選手は、たくさんいる。でも、競技を続けるにはお金がかかる。生活費も欠かせない。だから、働き口を探し、競技と仕事を両立させる。生活の質や職場の環境が、アスリートの未来に影響してくる。

その点、ビーターズのメンバーは恵まれている。プロバスケットボール選手として生きていくことと、地域に住みながらNPO法人で働いて収入を得ることがセットになっているのだから。

それだけではない。旧荒沢小には立派な体育館がある。職場から徒歩5分で練習が始められる素晴らしい。さらに、近所付き合いが生きている下田地域の温かさ。メンバーの心に染み入った。

農村でプロが3X3を極める
これが俺たちの「働き方改革」

小沼遼平 11
Ryohei Onuma

1987年(昭和62)4月28日生まれ、埼玉県岩槻市出身。当初は練習生でビーターズ入りも、昨今、選手契約。チーム一番の長身を生かす。190cm、74kg。

花野文昭 3
Fumiaki Hanano

1995年(平成7)1月23日生まれ、新潟県胎内市出身。信州ブレインフォリアーズ、群馬クレインサンダースでの経験をチームに注ぎ込む。173cm、73kg。

南条一輝 35
Kazuki Nanjo

1993年(平成5)3月1日生まれ、和歌山県和歌山市出身。キャプテン2季目は、チームの中で常に熱く、冷静な男でありたいと語る。175cm、74kg。

松岡一成 10
Issei Matsuoka

1990年(平成2)4月6日ドイツ生まれ、茨城県牛久市出身。体を張って味方をサポートするプレーが身上。ビーターズのバランス感覚の要。188cm、92kg。



りえないほど良いですね」と一言。

大学時代、スカウトを断り就職した松岡は、25歳の時、白血病になった。休職して治療するが、その後、再発。死を意識した。同じくスカウトを受けた大学の仲間は今やBリーグで活躍している。自分もプロになってバスケットをやっておけば良かった、と思った。

その後、地元バスケットスクールのコーチを務めながら体調を整え、友人に誘われて出場した3X3の地方大会で優勝し全国大会に進出。この活躍がビーターズの目に留まった(全国大会への出場はプロ3X3プレイヤーになる条件の1つ)。

人生2回目のプロへの誘い。実はこの時、都内の企業から内々定をもらっていた。でも、半農半バスケットの道を選んだ。「就職はまだできるかもしれませんが、プロの道が人生のてんびんに載ることは、もうないなと感じました」

この他、地域おこし協力隊を兼ねるメンバーは、バスケットをもっと理解したくて、新潟のアップルスポーツカレッジで学んだ経験を持つ埼玉県出身の小沼遼平(32歳)、チーム唯一の新潟生まれ、胎内市出身の花野文昭(24歳)。そして、トレーナーとして自ら売り込んだ片貝功基(28歳)も群馬県から移り住んできた。

彼らは下田の濃密な時間の中でビーターズのバスケットを育てている。プレミアリーグに初参戦した今年の経験を糧に、戦い抜くための知力と体力を来季までに蓄え、最高の準備をする。

「地域の人もチームメイトだと考えています」。そう南条は言う。地域とチームは、常に一緒にいる家族の間柄。そんな、ミニマムで、しなやかで、決して折れない、新しいプロチームを作りたいと願っている。